



駒西小だより

ふじみ野市立駒西小学校
TEL：261-5915
平成26年2月28日発行 第13号

ふじみ野市立駒西小学校 校長 森川 哲治

心のバリアフリー

2月24日にソチ冬季五輪が終わりました。フィギュアスケートの羽生結弦選手、浅田真央選手をはじめ、多くの選手が感動を届けてくれました。学校でも子供たちの話題に上っていて、応援に熱が入っていたことがわかります。

続いて、3月7日から16日まで行なわれるのがパラリンピックです。「パラシス(まひを意味する)」+「オリンピック」=「パラリンピック」という語呂合わせは日本人の発案で、1964年に初めて使用したものだそうです。その後、「パラレル(平行)」+「オリンピック」=「パラリンピック(もうひとつのオリンピック)」として再解釈され、1985年にIOCが正式にパラリンピックと呼ぶことを認めました。日本からはアルペンスキーに12名、クロスカントリースキー、バイアスロンに8名の選手が参加することになっています。

さて、毎年駒西小学校の5年生は総合的な学習の時間に福祉教育として、車いす体験やアイマスク体験、点字体験、盲導犬ユーザー講演会など、障害について学んでいます。これは、まず障害のある人の立場になって、体験を通して相手のことを考えられるということが目標です。その中で『足が不自由で・・・、目が見えなくて・・・、耳が聞こえなくて・・・「かわいそう」』という感想が出てきます。言葉が他にないので一言で言うと「できないことがいろいろあって「かわいそう」という表現になるのだと思います。私は、この「かわいそう」というだけの見方から脱却して、難しいかもしれないけれど次の段階の見方ができるようになってくれればと思っています。

車いす・アイマスク体験

私は担任を持っている時に子供たちと特別支援学校の文化祭に交流で出演し、運動会で行った演技を体育館で披露したことがあります。特別支援学校を訪問する前まで、子供たちは車いすに乗っている障害のある子は皆同じと見ているところがどうしてもありました。しかし直接触れ合い、会話をすることで、みんなと同じように障害者も一人一人個性があり、それぞれみんな違うのだということを肌で感じることができました。これは接することで初めて学んだことです。大切なのは、まず、ありのままの相手を受け入れ、そしてこの同じ世の中で障害のある人が共に生きていることに気づくことがスタートだと思います。

その後、金メダルを取った視覚障害の柔道家や銀メダルを取った車いすのアーチェリー選手の方をお招きして子供たちとともにお話を聞いたこともあります。「自分との戦い」、そして「限界への挑戦」といった選手としてのトレーニングや競技の厳しさや栄光をつかむというシーンは、生き方に自信を持たれていて、そこにはかわいそうというイメージは全く持ちませんでした。むしろ学ばされることばかりで、障害のない自分たちの方こそ頑張らなければならないという気持ちにさせられました。これも接したからこそ学んだことです。

横断歩道で白いつえを持った人に出会ったとき、何かお手伝いができないかなと思うことは素晴らしいことです。でも手をつないで引っ張って行ってあげればよいというものではありません。障害のある人を見かけたら、何でもしてあげることが必ずしもいいことではないこと、「相手に合わせて、できることに合わせて」手伝ってあげることが大切です。

学級内においても、このような考え方を同じように持てれば最高です。みんなと同じようにできないからといってその子を下に見たり、馬鹿にしたりすることは許されないことです。自分の立てた目標に向けて頑張ることは障害があってもなくても、一生懸命の努力に差はないことを理解してほしいです。

小さいうちから同じ世の中で障害のある人と共に生きていることを意識させることは大切です。埼玉県はノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進を目指しています。「心のバリア」は、障害のある児童に対する同情や憐れみの感情からではなく、「知り合う・ふれあう・学び合う」ことを通して、共感的に理解することで取り除かれます。

2020年東京五輪・パラリンピックの招致活動の最終プレゼンテーションでスピーチをした障害者陸上の佐藤真海選手が、ソチ冬季パラリンピック開会式前日の3月6日、ソチ市内で聖火リレーに参加し走者を務めるそうです。障害者に対する差別や偏見などの心の障壁を取り除く「心のバリアフリー」をはぐくむ子育てを考える良い機会です。



5年生 総合学習～盲導犬について学ぼう～

※ノーマライゼーションの理念:障害者と健常者とは、お互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするのが正常なこ

とであり、本来の望ましい姿であるとする考え方。

3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	
2	3	4	5	6	7	8	
	じっくりタイム 福岡中学校新入生説明会 13:40～ 通学班長会議	お話朝会 移動図書館 PTA本部会 10:00～	読み聞かせ 学校評議員会 6年生を送る会 (3校時)	さわやかタイム 教育相談日 委員会活動 (最終)	あいさつ運動 資源回収 一斉下校 (6校時)		
9	10	11	12	13	14	15	
	じっくりタイム	学年朝会 PTA運営委員会 10:00～会議室 第2回PTA総会 11:30～多目的ホール 地域会議 17:00～	じっくりタイム なかよしタイム (最終)	さわやかタイム 教育相談日 クラブ活動 (最終)	あいさつ運動 資源回収 図書最終貸し出し		
16	17	18	19	20	21	22	
	じっくりタイム	臨6	臨4 給食終了 13:30 下校	第47回卒業証書授与式 門出式 11:50～12:00 5年下校 12:10頃 (1～4年生は臨時休業)	春分の日		
23	24	25	26	27	28	29	
	臨4 下校 12:20頃 学校応援団会議 (6年生臨時休業)	臨4 下校 12:20頃 給食口座振替日 (6年生臨時休業)	臨3 修了式 下校 11:40頃 (6年生臨時休業)	春季休業日			
30	31	○春季休業日(3/27～4/7) 始業式 4/8(火)					

生活目標「学校をきれいにしよう

駒西小学校では、全員が三角巾で身支度を整え、15分間一生懸命に清掃に取り組む指導をしています。そして、この取り組みは、「学校をきれいにしよう」という駒西小学校の伝統になっています。

清掃の時間に校内を見回っていると、様々なことに気がきます。ほうきの使い方がまだおぼつかない1年生に、優しく丁寧に指導する担任の先生や、元気に友だちと廊下の雑巾がけに励む2～4年生たち。そして、おしゃべりをせずに黙々と掃除をする5、6年生の姿はとても立派に感じます。また、学年を問わず、とても手際よく掃除ができる子供も見かけることがあります。聞いてみると家でもよくお手伝いをよくやっているとのことでした。掃除が上手にできるようになると、きれいになることがうれしく感じられます。一人でも多くの子供たちに、そのような「喜び」を感じてもらい、学校全体が心も環境もきれいにできるよう指導を進めて参ります。

今月は、1年間お世話になった教室、廊下、トイレなど、感謝の気持ちを込めてじっくりきれいにしていきます。そして、1年間のまとめをしながら、新しい学年に向けた準備をさせていこうと考えています。

お知らせ

今年度は多数の一斉メール登録にご協力いただきありがとうございました。3月末日で一斉解除になり、4月から新しく登録をしていただくこととなります。また、保護者の皆様には、新しい学年での再登録にご協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

給食費振替日に引き落としができるようにご協力をお願いします。3月分は、3月25日(火)です。